

愛寿会 たより

10 月号
第 124 号
平成 21 年
10 月 1 日発行



【 九月十九日、仁生園に入所中の百才以上の長寿者を慰問激励のため、白倉政司北杜市長様及び、山梨県知事代理としての杉田雄二福祉保健部次長様が駆けつけて下さいました。そのときのスナップです。(詳しくは二頁) 】

職員みんなで接遇マナーの向上に努めて参ります

仁生園接遇マナー研究委員会委員長 (一―三班) 森田 悦子

仁生園には十の研究委員会があります

健康管理委員会、リハビリ研究委員会等々です。接遇マナー委員会もその一つです。職員は何れかの研究委員会に所属し、年間を通し勉強することになっています。

接遇マナーの大切さ

仁生園には「七つの誓い」というのがあります。

「はい」「すみません」「ありがとう」「おかげさま」「どうしました」「そうですね」「させてください」の七つです。職員全員ことあるごとにこの言葉を唱えて仕事を進めています。

小澤理事長は、「小事を疎か(おろそか)にする者は必ず大事が疎かになる」と常々言われます。そして「小事とは、身だしなみ、言葉づかい、礼儀作法のことである」と言うのです。いわば、接遇マナーが第一…ということになります。

お気づきでしょうか…仁生園の要所要所に「あいさつ」と書かれたポスターが貼ってあります

その内容は、接遇の心得を記したものです。職員全員がこのポスターを目にし、心を新たに仕事に取り組むことを願って、研究委員会のメンバーが自分たちで作ったものです。

職員を対象に接遇マナーのアンケート調査を実施してみました

挨拶、言葉づかい、身だしなみ等について、現状で良しとするものと、改善を要するものとの二分しての調査です。結果はおおむね半々でした。

「こういうふうに変更したい」、「みんなでこんなことに取り組もう」等々、建設的な意見がたくさんありました。

私は、二年連続しての当委員会の責任者を命ぜられています。昨年に比べ一段と充実したアンケート結果で、嬉しくなりました。

みんなで心を一つに更なる改善に努めます

接遇・マナーの向上という課題は非常に大きいものがあります。それだけに研究委員一同が力を合わせ、一歩でも二歩でも前進を図るよう努めて参ります。

そのためにさまざまな啓発資料を配ったりしながら施設全体として改善向上に努めて参ります。

そうすることが入所者の皆様へのサービスにつながっていくと思うからです。

料金後納郵便

差出人(差込送代行)

7-4 佐川物流サービス(株)

返送先:〒140-0012 品川区勝島 1-1-1

申子小包

このお荷物にご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

〽 祝 敬老の日 〽

今年度中に百才を迎える方が、仁生園には三名いらっしゃいます。また百才以上の方が五名、合計八名の方の長寿のお祝いの式が、九月十九日、白倉北杜市長様、杉田山梨県福祉保健部次長様をお迎えして開かれました。

百才を迎えられた金子清子様は娘さん御夫婦、小林治代様は息子さん御夫婦とお孫さん、ひ孫さんが出席され、入院中の田中ともよ様は息子さんが代理で、総理大臣を始めそれぞれのお祝いの品を受け取られました。

百才以上の皆様も、車椅子は使用されていりますが、きれいに身なりを整えられ、しっかりと受け取られ、進藤様が代表されるように、お礼を言われている姿に、戦中戦後を生き抜いてこられた方のたくましさのようなものを感じました。

仁生園、第二仁生園に入所されている方々すべてがご健康で百才の長寿を保たれるよう願って止みません。



【 北杜市長 白倉政司様のあいさつ 】

〽 やすらぎ・第二仁生園 ぶどう狩り 〽

九月十四日(月)、グループホーム「やすらぎ」・第二仁生園入所者の皆様総勢二十二名でぶどう狩りに行ってきました。

天候に恵まれ、車窓に広がる蕎麦の花や収穫間近の黄金色の稲を見ながら、童謡や流行歌、歌レク体操と車中も賑やかに目的地の韮崎市穂坂町の横森農園に着きました。

巨峰・ピオーネ・ゴルビー・信濃スマイル・スチューベン等沢山の品種があり、参加された皆様はそれぞれの味を楽しまれました。同農園は、「やすらぎ」の横森加奈職員のお宅です。そのためご家族を挙げて大接待をしていただきました。本当にありがとうございました。



九月十六日(水)、定例理事会・評議員会が開催されました

補正予算及び四項目の協議題が原案のとおり認められました

一般会計補正予算

平成二十年四月一日づけで建築基準法が改正され、仁生園・第二仁生園とも一年置きに専門機関に委託して耐震・耐火その他安全に関する調査を行い、その結果を知事に報告することが義務づけられました。そのための費用を初め、重油の地下タンクの安全性調査費用など百二十五万円が認められました。

協議題四項目

一 介護職員の処遇改善について

この十月から国の交付金により介護職員の給与の改善が図られることになりました。

また、四月一日から介護報酬が引き上げられました。

これらを財源に、全職員を対象に、可能な限り増額を図ること。その方法は臨時賞与支給の方法によること。支給時期は年度末とすること…等の方向づけがなされました。

二 他施設の運営状況について

全国的にも先進施設とされる社会福祉法人浴風会など五施設を実地調査した結果が報告され、これを土台に意見交換されました。

～ デイサービスだより ～

仁生園デイサービスセンターでは昨年より利用者の皆様の体力維持を目的に午後のレクの時間に三十分程運動を行っています。その内容は次の三つからなります。

- ①音楽に合わせてのリハビリ体操
- ②ゴムバンドを利用しての筋力トレーニング
- ③身体の血行を良くし、新陳代謝を高めるためのストレッチ体操

これら一連の運動により皆さんうっすらと汗を浮かべながら楽しい時間を過ごされています。

これからもたくさんの方々にデイサービスを利用していただきたいと思っています。



来園者の皆様 新型インフルエンザ予防のためにご協力を！

恐れ入りますが、入所者の健康維持のため次のことにご協力願います。

来園者のための出入り口

正面玄関のみにしておりますのでご了承願います。

手洗い・手指の消毒

玄関入るとすぐに消毒薬が用意してあります。ていねいに消毒するようお願いいたします。

事務所で体調の確かめ

かぜ気味など体調に不安のある方はご面会などをご遠慮いただくことがあります。

マスクの着用

入所者と接するところにお訪ねの方はマスクを着用願います。

マスクは各自用意して来て下さい。

各フロアーへの連絡

各フロアーに面会者の連絡をしたうえで入所者をお訪ね願います。



～ 第二仁生園 障害者作品展鑑賞 ～

九月四日（金）から九日（水）まで、甲府駅前の山交百貨店で「第十二回山梨県障害者文化展」が催されました。

第二仁生園からも手芸・陶芸・絵画などの分野に十一人が出品、下（しも）春太郎さんの作品が奨励賞を受けました。

八日（火）には入所者四人が参観に行つて来ました。来年はもっと大勢で沢山出品しようとして話合っているところです。



【下 春太郎さんです】

三 第二仁生園へのスプリンクラー設備の設置について

建設当時はその設置は義務づけられていませんでした。

しかし、平成十九年六月に消防法施行令等が改正され、平成二十四年三月三十一日までに設置するように義務づけられました。

そこで、本年度当初予算に設計費を計上し、期限までには設置するよう準備を進めていました。

ところがこのほど、国の経済対策による補助金確保の見通しが立ちましたので、設計を急ぎ、平成二十一年度から二十二年度にかけて工事を施行したいとの構想が述べられ、それによって事業を進めることが認められました。

四 第二仁生園作業棟の建設について

平成十八年に武田和久理事から一千万円のご寄付をいただき、これにより作業棟を建設する予定でありました。

その後JKA（旧日本自転車振興会）に打診したところ平成二十二年度に補助可能とのことになりました。

JKAからの補助金は一千四百万円程度と見込まれます。

そこで合計二千四百万円前後で建設するよう設計を進めているとの報告があり、了承されました。

感謝

平成二十一年八月二十八日
平成二十一年九月二十五日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への

ご協力ありがとうございました

いつも、愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力いただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

なにとぞ倍旧のご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながらお礼状に代えさせていただきます。
(敬称略五十音順)

金員・物品のご寄付

・千葉県 湯浅 四郎 様 昌枝 様

ボランティア活動

・北杜市 奥本 道代 様

・北杜市 九里 靖裕 様

・北杜市 佐藤 美代 様

・北杜市 内藤 美佐子 様

・北杜市 保坂 多枝子 様

・レクボランティア和(なごみ)の会 代表 加地洋子 様

・レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様

・レクボランティアゆずっこの会 代表 佐野 恭子 様

愛寿会後援会への「ご協力ありがとうございました」でございます

北杜市 雨宮 今朝雄 様

北杜市 伊藤 祥潔 様

北杜市 峡北印刷(株) 様

- ・東京都 佐藤 勝海 様
- ・北杜市 田中 三男 様
- ・北杜市 藤森 忠彦 様
- ・神奈川県 細木 輝子 様
- ・北杜市 堀内 正紀 様
- ・北杜市 渡辺 正紀 様

千葉県白井市

湯浅四郎・昌枝様に感謝

八月三十一日、湯浅様ご夫妻から白井市特産の梨「豊水」三十キロのご寄贈がありました。

昌枝様が長野県富士見町のご出身。そのご両親が創設間もない仁生園でお世話になったとして、以来三十余年欠かさず梨を贈ってらっています。

三十一日、百三十余名の入所者の皆様にその経緯をお話したうえご馳走になりました。全員感謝しながら「おいしい」「うまい」の連発でした。

三十数年前、ご両親様の介護に当たった、坂本昌子元副園長の話「とても穏やかなご両親様でした。思い出いっぱいです。あの頃の梨の便りが今以って続いているとはびっくりです。人の情を改めて感じます。」
湯浅様本当にありがとうございました。



【 おやつの時間にいただきました 】

愛寿会後援会支援による

「介護福祉士国家試験対策講座」の

日程が決まりました。

仁生園副園長 植松 喜代美

浅川 まゆみ

小林 町子

第二仁生園副園長 白倉 直子

愛寿会仁生園及び第二仁生園のレベルアップを図るためには、介護福祉士の有資格者の占有率を高めることが第一として愛寿会後援会では、本年度の予算に講習会費二十一万円を計上して下さいました。

今年の受験者は二十五名を数えます。

講習会の内容をどうするかについて、山梨県立大学福祉人間科学科の小野恭子教授のご協力をいただきました。

その結果、多教科にわたる内容をすべて網羅するよりも、「試験を突破するために何をしたらよいか」という内容で一回。そして、中盤に受験勉強を進める上で必要なことや問題点解決に向けて一回開催することが最も効果的との結論になりました。

具体的には十月九日午後第一回を、十二月中旬に第二回を、県立大学講師伊藤健次先生にお願いして開催することになりました。

施設が後援会と共同し、受験生全員を対象とした国家試験対策講座を開くのは、山梨県で愛寿会が初めてだそうです。

後援会の皆様本当にありがとうございます。

愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望、施設見学などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。

仁生園 電話 0551-32-3340
第二仁生園 電話 0551-32-8270